



大門中だより

<http://www.higashikurume-school02.jp/~dai-j/>

令和4年10月28日発行

東久留米市立大門中学校

〒203-0011 東久留米市大門町 2-13-8

TEL: 042-474-1753 fax: 042-472-7997

校長 若澤 直樹

学びの秋 スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、食欲の秋・・

秋も深まってまいりました。食欲の秋といわれる理由を検索してみましたら、「実りの秋にたくさんおいしい食材が出回るから」や「冬の寒さに備えたくさん食べて、エネルギーを補充するため」など諸説がありました。11月11日は市内の学校では「くるめ産給食の日」として地産地消、地場産の食材によるランチ給食が予定されています。

スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋については、それぞれ取り組むために季候が良く集中できるから、という理由だと思いますが、何かを身に付け磨いていくためにこの秋の季節を機会に、というキャンペーンフレーズ、「〇〇の秋」を是非充実していきたいものです。

さて、3年生は中でもいよいよ進路選択のタイミング目前となり、「学びの秋」が一番心に響いてくるフレーズでしょうか。2年生は都内を巡る校外学習、1年生もドリームマップでのキャリア学習、と行事や総合学習の中にも学びの秋のイベントが控えています。学びの季節を大切にしていきます。

全国と東京都の調査から 大門中生の傾向は

今年度も約半分が過ぎました。夏の終わりに学校には【全国学力・学習状況調査】や【東京都の学力向上を図るための調査(生活習慣や意識等のアンケート)】の集計結果が送られてきました。これらを参考に大門中では授業や学習活動の工夫、来年度の教育活動の計画立案を少しずつ進めています。2つの調査の集計結果から見えてくる本校全体の傾向をお伝えします。

【全国学力・学習状況調査（3年生の4月実施）から見えてくる大門中学校の傾向】

〔質問紙〕 東京都の平均と比較すると生活習慣や学習習慣についての問いかけに対しては意識が高い生徒が多い傾向が見られます。一方、スマートフォンなどでのSNSや動画視聴の時間については1日4時間以上と答えた生徒が東京都平均より多めでした。体調の管理や時間の使い方についての確認は必要ようです。

また自己有用感 は東京都の平均と比較すると高い傾向が見られました。更に新しいことにチャレンジする意欲を育てる取り組みを進めます。

〔数学〕 数学の平均正答率は全国平均は51.4%、大門中は60.0%となっています。その中の傾向を見ると、基本的な方程式を解くことや数式が表す意味を読み取ることが得意な生徒が多いようです。一方、データの傾向を捉えて説明したり筋道を立てて考え理由を説明する問題の正答率は相対的に低い傾向がありました。これらの結果をふまえ、習熟度別少人数授業を活用し、様々な統計の課題や読解力を必要とする課題を通して数学的活動を大切に授業作りを工夫しています。

〔国語〕 国語の平均正答率は全国平均が69%、大門中は71.0%でした。授業では小テストなどで書くことへの動機付けをしていますが、漢字を書く問題については全国平均より高い正解率でした。今後も書く習慣を大切にしていきます。一方、論理の展開など問題文の部分部分の関係を全体の中で捉えることに課題のある生徒が多い傾向がありました。これについては互いのスピーチを聞き合って質問や助言をするなど、自分が聞き取って理解したことや考えたことを共有する学習活動を増やし、情報のポイントを全体の文脈の中から理解することや、そのポイントをわかりやすく伝える力を伸ばす工夫をしていきます。

〔理科〕 平均正答率は全国平均が49.3%、大門中は48%とわずかですが下回っています。知識や技能に関しては基本的には力が付いているようですが、持っている知識や技能を活用し分析することや、データを組み合わせることで解釈していくことが苦手な傾向があるようです。地層の問題では読解力や空間把握の力を試されましたが、これも少し苦手な傾向が見られました。

他者と話し合い説明し合う時間を増やし、その過程の中で自分の考えを深め組み立てる力を伸ばしていきます。また、読解力が必要とされる問題演習への取り組みや、学習内容に関連する身近な生活の中の事柄を取り上げることも進めていきます。

【東京都の児童・生徒の学力向上を図るための調査（全学年実施）から見えてくる大門中学校の傾向】

国・社・数・理・英の5教科の授業に関する「どのくらい分かりますか」という問いには、ほぼ全学年で80%以上の生徒が「よく分かる・どちらかといえば分かる」と答えています。一方各教科・各学年ともに「どのくらい得意ですか」という問いには「得意・どちらかといえば得意」と答えた生徒は70%以下、学年によっては40%近くまで減っています。自分は分かっているけれど、テストなどの点数はあまりとれていない、と感じているのかも知れません。

また、「自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている」や「文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している」という問いには「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」が50%ほどと他の質問に比べて低く、苦手意識からかその機会が少ないようです。発表などの場を工夫して増やし自信をつけるための場を多く設定することを進めていきます。

部活動等の記録

女子バスケットボール部

東久留米市中学校バスケットボールシード決め大会 **優勝**

男女ソフトテニス部 11ブロック中学校ソフトテニス新人大会

男子団体 **ベスト8**

女子団体 **ベスト8**

男子ダブルス **第3位** 山根翔太郎 (2B)・飯田悠人 (1C) ペア **都大会出場**

硬式テニス

東京都中学校新人テニス選手権大会 **シングルス準優勝** 2年B組 川島瑠莉



1 年校外学習（川越） 9月30日（金）



2 年職場体験 「夢★らくざプロジェクト」 10月7日（金）



～ 11月の主な予定 ～

1日（火）	人権尊重推進月間 2年実力確認テスト	16日（水）	職員会議 数学補充教室
2日（水）	生徒総会 数学補充教室	17日（木）	期末考査始
3日（木）	文化の日 東京都教育の日	18日（金）	期末考査終 合唱コン実行委員会
4日（金）	専門委員会 ⑥カット 3年実力確認テスト	21日（月）	生徒会朝礼
7日（月）	安全指導 学年会	22日（火）	
8日（火）	1年ドリームマップ	23日（水）	勤労感謝の日
9日（水）	小中連携の日 数学補充教室	24日（木）	
10日（木）		25日（金）	学校評議員会
11日（金）		28日（月）	
14日（月）	避難訓練	29日（火）	1年モアレ検診
15日（火）		30日（水）	学年会 数学補充教室

学校HPにも行事の写真を掲載していますので、そちらもご覧ください。